

告示	番号	43	内分泌疾患
	疾病名	VIP 産生腫瘍	

VIP 産生腫瘍

ぶいあいびーさんせいしゅよう

概念・定義

腫瘍からの VIP 分泌過剰による疾患。

症状

大量の水様下痢とそれに伴う低カリウム血症、低クロール血症、代謝性アシドーシスなどを呈する (WDHA 症候群(watery diarrhea-hypokalemia-achlorhydria syndrome)。さらに、低カリウム血症や脱水による易疲労感、筋力低下、筋硬直、吐き気・嘔吐、皮膚潮紅、高血糖、高カルシウム血症などを呈する。VIP 産生腫瘍の下痢は分泌性で成人では一日 700 mL 以上であり、絶食状態でも生じるのが特徴である。腹痛は軽度であるとされる。原発腫瘍は、成人では膀胱部に 3cm 以上の腫瘍として見つかることが多いが、消化管にも発生する。小児では 2-4 歳に多く、交感神経節や副腎に発生することが多い。40-80%は悪性である

治療

VIP 産生腫瘍と診断された場合、切除術が推奨される。手術が腫瘍減量手術にとどまった場合は、ソマトスタチンアナログ製剤などによる追加治療が推奨される。急激な下痢による脱水症状に対して、電解質液の大量の補液が推奨される

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/5_32_73.html